

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

| | |
|-----------------|----------|
| 提出日 | 2023.2.9 |
| 作成 高齢者支援センター | 町田2 |
| 作成者 | 小林真人 |

| | | | | | |
|-----------------------|---|--------------------------------|---|---|-------|
| 1.開催日時 | 2023年 1月23日 | 月 | 19:00 | ～ | 20:30 |
| 2.会場 | オンライン | | | | |
| 3.主催センター | 町田1 ・ 町田2 ・ 町田3 | | | | |
| 4.参加人数 | 20名 | | | | |
| 5.参加者内訳 | <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター 6人 | | <input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター 1人 | | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者 8人 (うち、医師 0人) | | <input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者 2人 | | |
| | <input type="checkbox"/> 民生委員 人 | <input type="checkbox"/> 老人会 人 | <input type="checkbox"/> 住民 人 | | |
| | <input type="checkbox"/> 町内会自治会 人 | <input type="checkbox"/> 警察 人 | <input checked="" type="checkbox"/> 行政 3人 | | |
| | <input type="checkbox"/> その他 () | | | | |
| 6.開催テーマ | 今取り組むべきフレイル予防について考える「身近な人にフレイルを伝えていこう」 | | | | |
| 7.地域課題 | <p>(1)課題設定の背景</p> <p>新型コロナウイルス感染症の長期流行に起因する外出自粛とその長期化、また、感染症への心配・不安による地域活動の縮小等により、フレイル進行が懸念される。社会活動が回復しつつある今、フレイル予防の啓発を強化する必要がある</p> <p>(2)検討した地域課題</p> <p>2020年2月～新型コロナウイルス感染症流行に伴い、引きこもりがちな生活・社会活動の縮小・地域交流の場の消失し、高齢者のフレイル進行が懸念される状況が続いている。コロナ感染以前からあった課題だが、感染流行を経てより、その重要性が高まっている。感染対策を行いつつ、高齢者自らがフレイル予防に取り組める地域作りが必要である。</p> | | | | |
| 8.会議の内容 | <p>①おくすり手帳カバー活用事例の報告。</p> <p>②町田圏域地域ケア推進会議から作成した「町田圏域版フレイル予防リーフレット」のトライアル結果について報告。意見交換を実施。</p> <p>③2月17日に開催する町田圏域地域ケア推進会議(拡大会議)について協議を行った。</p> | | | | |
| 9.課題に対する対応策・今後の地域での展開 | <p>新型コロナ感染症終息の心配がなく、地域の高齢者の外出自粛、地域活動の縮小に伴う低活動が続いていることからフレイルの進行は依然懸念される状況であり、そのため専門職が日頃の業務で接する高齢者にフレイル予防の大切さを伝えていくことや、リーフレットを活用する取り組みはフレイル予防に対し有用であることを確認した。</p> <p>2月17日の町田圏域地域ケア推進会議(拡大会議)では、圏域内でフレイル予防の啓発を図る為に、専門職への学習機会の提供、他機関・他事業所で既に行っているフレイル予防の取り組みの情報共有、作成したリーフレットの活用や周知について新たな意見を取り入れるため情報交換や協議を行い、医療介護従事者が業務で接する高齢者へフレイル予防の大切さを伝えていく取り組みを推進していく。</p> <p>また、拡大会議申込者に対しては各機関・事業所ですで行われているフレイル予防啓発の取り組みについて事前アンケートを行い、その中で今後必要な取り組みについては会議にて事例報告を行う予定とする。</p> | | | | |